



## ●市内の小・中学生が参加する栗駒山麓ジオパーク学習交流会で田んぼダムの広報活動を行いました。



令和6年12月19日（木）に栗原文化会館で市内の小・中学生が参加する栗駒山麓ジオパーク学習交流会が開催され、会場内で田んぼダムの広報活動を行いました。

会場では、パネル展示と併せてシールアンケート調査を行い、多くの方に回答していただきました。また、アンケートでは、田んぼダムを知らない方が多くいる一方で、中には自宅が農家で実際の堰板を見たことがあるという児童などもありました。アンケート調査を実施する中で徐々に普及が進んでいると実感しました。

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-khsgsin-ns/tannbodamuhukyuuukatudou.html>



## ●農地整備事業「迫第四地区」の権利者会議を開催しました。



当日の様子

令和6年11月8日（金）、栗原市瀬峰農村環境改善センターにおいて、農地整備事業「迫第四地区」の権利者会議を開催しました。迫第四地区は農地面積が約86.6haの水田地帯で、整備前は10a区画の農地となっており、作業効率も悪く、水管理や維持補修に多大な労力を要してきました。こうした課題を解決するため、平成28年度に農業競争力強化農地整備事業として採択され、令和5年度に工事が完了しました。

関係者のご協力もあり、現在は、農地の約4分の3が1ha大区画ほ場に整備され、用水はパイプライン方式を導入するなど、用水管理作業が軽減されたほか、暗渠排水も整備され、水田の汎用化が可能となりました。

当日は、書面議決を含む143名が出席し、議長を除く142名の賛成によって換地計画が可決されました。

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-khsgsin-ns/hazamadaiyonntikukennrisyakaigi.html>

## ●中山間地域等直接支払制度「若柳蓬田集落協定」主催による 収穫祭が開催されました！



令和6年11月17日(日)、栗原市若柳上畑岡にある蓬田棚田(よもぎだたなだ)で収穫祭が行われました。

収穫祭では蓬田棚田で収穫されたそば、ずんだもち(枝豆)、サツマイモのお振る舞いがありました。

市内医療従事者の講話で生活習慣病への理解を深めた後、今年も田植や収穫体験を行った尚絅学院大学生や地域の方々でお振る舞いを楽しみながら交流を深めました。



尚絅学院大学からは、学生たちの今年の活動についての情報提供もありました。

11月2日(土)、3日(日)に行われた尚絅学院大学の尚志祭では、学生による蓬田棚田のサツマイモの販売が行われました。来場者にとっても好評で、初日で完売したとのことです。

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-khsgsin-ns/kurihara-yomogida02.html>



## ●有壁地区で「ねじりほんによコンテスト」が開催されました！



令和6年10月13日(日)、栗原市金成の有壁地区で、「みやぎの地域資源保全活用支援事業補助金」を活用し、有壁創生会主催による「ねじりほんによコンテスト」が開催されました。

ねじりほんによとは、刈り取った稲を乾燥させるため、稲束を杭にらせん状に積み上げたもので、栗原市のマスコットキャラクターにもなっています。

当日は、地元農家の方が講師となって実演した後、参加者17名がねじりほんによ作りを体験し、その出来映えを競いました。2、3人ずつで協力して16本のねじりほんによが完成し、その後、参加者の投票によって最優秀賞、優秀賞、努力賞が選ばれました。

参加者と地元農家が交流しながら作業し、積み方の少しの違いによって個性豊かなねじりほんによが出来上がるのを楽しんでいた様子でした。

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-khsgsin-ns/arikabetikunezirihonnyokonntesuto.html>



## ●中山間地域等直接支払制度「若柳蓬田集落協定」主催による蓬田棚田 フォトコンテスト写真展が開催されました！



令和7年2月15日（土）～2月23日（日）の間、栗原市JRくりこま高原駅内オアシスセンターにおいて、栗原市若柳上畑岡にある蓬田棚田（よもぎだたなだ）の棚田フォトコンテストの写真展が行われました。

2月15日（土）にはコンテスト受賞者への表彰式も行われ、受賞者の方々へ蓬田棚田で収穫した棚田米やレンコンなどが贈呈されました。特選賞は棚田米30kg相当、レンコン、野菜の詰め合わせです。

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-khsgsin-ns/kurihara-yomogida03.html>



## ●有壁地区で酒蔵見学・新酒きき酒会が開催されました！

栗原市金成の有壁地区では、令和7年度の農地整備事業採択に向けた準備が進められており、酒米「吟のいろは」の栽培面積拡大や地域活性化等のビジョン実現に向けた様々な取組が行われています。

令和7年2月15日（土）、有壁地区で「みやぎの地域資源保全活用支援事業補助金」を活用して萩野酒造（株）と有壁創生会の共催による「酒蔵見学・新酒きき酒会」が開催されました。一般参加者20名が萩野酒造（株）の酒蔵を見学し、酒造りの工程を学んだ後、「ナマズのがっこう」三塚事務局長や宮城大学茅原教授による講話を通し、有壁の地域資源を活かした地域づくりについて理解を深めました。また、「日輪田」、「萩の鶴」等、10種類の日本酒のきき酒会も行われ、参加者は味の違いを楽しんでいました。

※通常、萩野酒造（株）で酒蔵見学・きき酒は受け付けておりません。



↑「天水の郷 有壁」

有壁地区で生産された酒米（吟のいろは）を使用した特別純米酒

